

日本語日本文化学科の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【学士（日本語日本文化）】

学部の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）	学科の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）
人間が作り上げてきた文化・言語および文学・芸術に対する深い関心と幅広い教養を身につける。加えて、言語ならびにメディアの運用力を修得し、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力と個性の発現である自己表現力を備えた人材を育成する。	日本語および日本文化についての豊かな教養を身につけ、多角的に社会を捉え、高度で実践的なコミュニケーションスキルを活用しつつ問題の解決にあたる、社会に貢献できる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
DP1 知識・理解	(1)	日本語・日本文学・日本文化について、その歴史的背景を含め、客観的・科学的な知識と教養を身につけている。	1. 正しい日本語と奥深い日本文化を基礎から幅広く学び、将来に役立つ資格・技能の取得をめざし、3つの分野を設ける。 2. コミュニケーション実践分野では、コミュニケーションに関する知識と教養を深め、口頭表現や文章表現の能力を高め、日本語教員として、また、コミュニケーション産業で必要とされる能力を身につける。 3. ホスピタリティ分野では、ホスピタリティに関する知識と教養を深め、さまざまな実習や視察、インターンシップ等を通してホスピタリティ産業で必要とされる能力を身につける。 4. 言語・文学・文化分野では、日本語・日本文学・日本文化についての知識と教養を深め、国語科教員として、また、ことばを中心としつつ実社会で必要とされる能力を身につける。	日本語日本文化学科では、日本語や日本文化と、それらを基盤にした話し方などのコミュニケーション能力やホスピタリティの精神を学びます。これらの分野に強い関心のある学生を幅広く求めます。日本語日本文化学科では、以下のような学生を求めています。 1. 関心・意欲・態度 日本語と日本文化に関心があり、この分野における多様な知識を学ぶ強い意志を持ち、人間性と文化を尊重する心を有する人 2. 知識・教養 日本語日本文化の諸分野を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を習得した人 ※高等学校までに履修した主要教科（国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科）の基礎的な知識 3. 思考力・判断力・表現力 知識・教養を基盤として、深い思考をもとに適切な判断のできる人 柔軟な思考のもとに自由な発想で問題を解決しようとする人 コミュニケーション能力を向上させることができ、自己表現力を高めようとする人 4. 協働性・主体性 思いやりの心を持ち、人と文化の多様性を尊重してチームワークのとれる豊かな人間性を持つ人
	(2)	日本語の口頭言語および書記言語の双方で、高度で実践的なコミュニケーションに関する知識と教養を身につけている。		
	(3)	日本のみならず広く人間文化の根幹をなす、他者の尊重を軸とするホスピタリティ精神に関する知識と教養を身につけている。		
DP2 汎用的技能	(1)	日本語・日本文学・日本文化に関するさまざまな問題について、それらを複眼的、論理的に分析し、的確に表現するとともに、他者を教え導く論理的思考力を身につけている。		
	(2)	日本社会に関するさまざまな情報を収集・分析する情報リテラシーにくわえ、それらを書記言語・口頭言語を問わず適切に発信できる高度で実践的なコミュニケーションスキルを身につけている。		
	(3)	人間相互の心の通った交流を軸とするホスピタリティ精神にもとづき、相手の立場によりそいつつ現状を見直し、さらなる改善をはかる問題解決力を身につけている。		
DP3 態度・志向性	(1)	自らの力でつねに新たな日本語や日本文化の動向を理解し、また知識や能力の習得に努め、自らの問題解決に応用することのできる生涯学習力を身につけている。		
	(2)	自己の意見を表出しつつ、他者の意見を傾聴し、他者と連携して問題解決にあたるチームワークを身につけている。		
	(3)	社会にある多様な価値観を認め、他者との協調を重視しつつ自らの価値観を保持する高い倫理観を身につけている。		
DP4 統合的な学習経験	(1)	過去から未来へと続く日本文化に育まれた精神を見据え、かつ多角的な視点から自らをとりまく社会の本質を捉える能力を身につけている。		
	(2)	高度で実践的なコミュニケーションスキルを活用しつつ、現状の問題を認識し、その解決にあたる能力を身につけている。		